

海外安全対策情報（2014年4月～6月分）

在サンクトペテルブルク日本国総領事館

1 社会・治安情勢

当地では社会・治安情勢は比較的安定しているものの、政府に対する抗議活動や民族主義団体等による集会・デモは頻繁に発生しており、治安当局による集会・デモ参加者への拘束事案も発生しており注意を要する。

2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

(1) 国家統計庁が発表した2014年1月から5月におけるサンクトペテルブルク市及びレニングラード州の犯罪発生件数は24,153件、前年同期比105.9%となっている。

犯罪種別の内訳は以下のとおり。

殺人（未遂を含む）	126件（前年同期比 100.8%）
重傷傷害	217件（ 90.0%）
強姦	28件（112.0%）
強盗（武器使用）	282件（ 81.7%）
強盗（武器未使用）	1,121件（ 80.5%）
窃盗	9,418件（118.8%）
詐欺	1,195件（ 85.8%）
薬物不法取引	6,007件（ 99.9%）

当地における邦人窃盗被害の多くはスリであり、バスや地下鉄利用時や観光スポット周辺において狙われることが多いことから、公共交通機関の利用を避けたり、観光スポット周辺では身の回りに注意する等の防衛策が必要となる。

又、パスポートの盗難被害に遭う邦人が多いため、パスポートは財布等と分けて保管したり、不要の際はパスポートのコピーを携帯する（当地においては賄賂目的以外で当局からパスポートの提示を求められることは希である）等、パスポートの紛失・盗難に心がける必要がある。

(2) 邦人被害事案

- ア 4月中旬、旅行者がネフスキー大通りを歩行中、いつのまにか肩掛けカバンが開いていたので中を確認すると、財布（現金800米ドル、3000ルーブル、クレジットカード2枚、キャッシュカード1枚在中）とカバンを結着していたチェーンが切られ、財布が無くなっていた。
- イ 4月下旬、旅行者が地下鉄に乗車しようとしたところ、前方にいたロシア人1名と後方にいた3名に挟まれて車両内に押し込まれた。車内でロシア人と後方の男が小競り合いをするように体を押しつけてきた。男らが降車し、確認したところ、ズボンの後ろポケットに入れていた財布（現金6,000ルーブル、銀行キャッシュカード3枚、クレジットカード1枚等在中）が盗まれていた。
- ウ 4月下旬、旅行者が地下鉄「プロシャチ・ヴァスターニヤ」駅にて地下鉄に乗り込もうとしたところ、ロシア人4名に囲まれるようにして押し込まれた。ロシア人4名が次の駅で降車したため、確認したところ、手提げカバンに入れていた財布（現金138米ドル、172元、500円在中）が盗まれていた。
- エ 5月上旬、出張者がネフスキー大通りを歩行中、2人組のロシア人がパンフレットを売りつけにきた。男たちが離れた後、カバンに入れていた財布（現金10万円相当のルーブル、クレジットカード2枚等在中）が盗まれているのに気づいた。
- オ 5月上旬、旅行者がエルミタージュ美術館内で鑑賞中、いつのまにかリュックサックのチャックが開けられ、中から財布（キャッシュカード等在中）、携帯電話が盗まれていた。
- カ 5月下旬、旅行者が「血の上の救世主」教会付近路上を歩いていたところ、外国人2人組がパンフレットを広げて売りつけてきた。男たちはすぐに立ち去ったが、不審に思い確認すると、上着の左胸ポケットに入れていた財布（現金12,000ルーブル、キャッシュカード3枚、クレジットカード2枚等在中）が盗まれていた。
- キ 6月中旬、旅行者が「血の上の救世主」教会付近路上を歩行中、肩掛けにしていたカバンのファスナーが開いていたので中を確認したところ、財布（現金15,000ルーブル、クレジットカード2枚等在中）が盗まれていた。

- ク 6月中旬, 旅行者が地下鉄「ネフスキー・プロスペクト」駅にて地下鉄に乗り込もうとしたところ, ロシア人と中央アジア系のグループに囲まれ, 上着の内ポケットに入れていた財布(現金6万円, 6,000ルーブル, クレジットカード2枚等在中)を盗まれた。
- ケ 6月下旬, 旅行者がネフスキー大通り沿いのアドミニストラル駅付近にある停留所からモスクワ駅行きのトロリーバスに乗車したところ, いつの間にか左脇に挟んでいたカバンのチャックが開いていた。確認すると財布(現金4,000ルーブル, クレジットカード1枚, キャッシュカード1枚等在中)が盗まれていた。
- コ 6月下旬, 旅行者がサンクトペテルブルク市内のレストランで食事中, 椅子にかけていたカバン(財布, 携帯電話等在中)が盗まれた。

(3) 邦人以外の被害事案

ア 殺人・殺人未遂

- (ア) 4月上旬, 市内クラスノグヴァールジェイスキー区のカフェにてケンカが発生し, 2人が刃物で腹部を刺され, 1人が下腿部をエアガンで撃たれて病院に運ばれた。
- (イ) 4月中旬, 市内中央区の hostel 内で, 32歳の無職の男が17歳の少年と口論になり, 刃物で少年を刺した。少年は病院に搬送されたが重体である。犯人は逮捕された。
- (ウ) 4月中旬, 市内クラスノセルスキー区の路上にて16歳の少年が14歳の少年と口論となり, 16歳の少年が相手を刃物で刺した。被害者は病院に搬送されたが重体である。犯人の少年は逮捕された。
- (エ) 5月上旬, 地下鉄「プロスペクト・ヴェチェラノフ」付近の路上において, ダゲスタン人の男と, アゼルバイジャン人の男性が口論となり, ダゲスタン人が外傷性けん銃を相手に向け数回発砲した。犯人は逃走した。
- (オ) 5月下旬, レニングラード州ガチンスキー区の路上で41歳のエストニア国籍の男と48歳の男性が口論となり, エストニア国籍の男が相手を刃物で刺した。被害者は病院に搬送されたが死亡した。

(カ) 6月上旬, 市内ヴィボルグスキー区の売店にて店員と客が口論となり, 客が店員の腹部を刃物で刺し, 逃走した。被害者は重傷を負い, 病院に搬送された。

イ 強盗

(ア) 4月上旬, 市内沿海区のインターネットショップ事務所に強盗が押し入り, 店員の腕をプラスチック製ストラップで縛り, レジ及び金庫から合計93,000ルーブルを奪い逃走した。

(イ) 4月中旬, 市内クラスノセルスキー区のアパートの一室に3人組の強盗が押し入り, 家人を猟銃やけん銃で脅し, 現金12万ルーブル, 宝飾品, 携帯電話等, 時価合計約23万ルーブルを奪い逃走した。

(ウ) 4月下旬, 市内中央区のウラジーミルスカヤ広場において, 強盗が乗り合いタクシーの運転手に暴行を加え, 売上金18,000ルーブルを奪い逃走した。被疑者(無職男性)は後日, 逮捕された。

(エ) 5月上旬, 市内中央区の宝石店に覆面をした強盗が押し入り, 店員を脅し, ショウケースを破壊して宝飾品を奪い逃走した。

(オ) 5月上旬, 市内クラスノグヴァールジェイスキー区の寿司店に2人組の強盗が押し入り, けん銃様の物で店員を脅し, レジから24,000ルーブルを奪い逃走した。

(カ) 5月上旬, 市内モスコフスキー区の宝飾店に2人組の強盗が押し入り, けん銃様の物で店員を脅し, 宝飾品を奪い逃走した。

(キ) 5月中旬, 市内フルンゼンスキー区の携帯電話販売店に2人組の覆面をした強盗が押し入り, けん銃様の物で店員を脅し, 売上金30,000ルーブルを奪い逃走した。

(ク) 5月下旬, 市内中央区の宝石店に強盗が押し入り, けん銃様の物で店員を脅し, 宝飾品2点を奪い逃走した。

(ケ) 5月下旬, 市内アドミラルチェイスキー区の売店に2人組の強盗が押し入り, 店員に暴行を加え, 売上金を奪い逃走した。

(コ) 5月下旬, 市内カリーニンスキー区の路上にて乗客を装った2人組の強盗が乗

り合いタクシーの運転手をけん銃で脅し、売上金約18,000ルーブルを奪い逃走した。

(サ) 6月上旬、市内ワシーリエオストロフスキー区の路上にて強盗が18歳の男性を釘が打ち込まれたこん棒で脅し、現金1,500ルーブル及び携帯電話を奪い逃走した。犯人は後日逮捕された。

(シ) 6月中旬、市内モスコフスキー区の宝石店に強盗が押し入り、店員を店外に追い出した後、ショウケースを破壊して宝飾品を奪い逃走した。

(ス) 6月下旬、市内モスコフスキー区の携帯電話点に強盗が押し入り、店員をけん銃様のもので脅し、現金126万ルーブルの入った袋を奪い逃走した。

(セ) 6月下旬、市内沿海区の宝石店に5人組の覆面をした強盗が押し入り、店員をけん銃様のもので脅し、ショウケースを破壊して宝飾品を奪い逃走した。

ウ 強姦

(ア) 4月上旬、市内モスコフスキー区の路上にて、13歳の少女が何者かに強姦された。後日、22歳のダゲスタン人が被疑者として逮捕された。

(イ) 5月上旬、レニングラード州ロマノソフ市にて14歳の少女が強姦された。後日、41歳の地元の男が被疑者として逮捕された。

(ウ) 5月下旬、市内アドミラルチェイスキー区のアパート内で17歳の少女が強姦された。後日、26歳のエジプト国籍の男が被疑者として逮捕された。

(エ) 5月下旬、市内沿海区の海岸で8歳の少女が何者かに強姦された。犯人は逃走しており、現在、捜査中である。

3 テロ・爆発事件発生状況

4月上旬、市内沿海区の小学校に爆弾を仕掛けた旨の電話があった。警察は生徒等150人を非難させ検索したが、不審物の発見には至らなかった。

4 誘拐・脅迫事件発生状況

特になし。

5 日本企業の安全に関わる諸問題

特になし。